

< 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第53回

リンドウ



リンドウの仲間では学名が *Gentiana septemfida* (リンドウ科) となっています。GentianaはIllyriaの王Gentius(B.C.500年頃)にちなみ、septemfidaは花が七中裂であることによります。トルコ原産で草丈20cm程の多年草です。夏に青い花を開くのでナツリンドウと呼ばれているようです。

リンドウの仲間は根に苦み成分であるゲンチオピクリン等のセコイリドイド類を含むことから苦味健胃薬として用いられています。又、リンドウの根は竜胆と呼び体を冷やす働きをもっており、竜胆瀉肝湯等の漢方薬に配合されます。

本画はカーチスのボタニカルマガジン(1770年代創刊で現在も継続出版中)の1880年出版本に掲載されたものです。